

メキシコ金融政策（2024年6月）

政策金利の据え置きを決定も、利下げ再開に前向きな姿勢

2024年6月28日

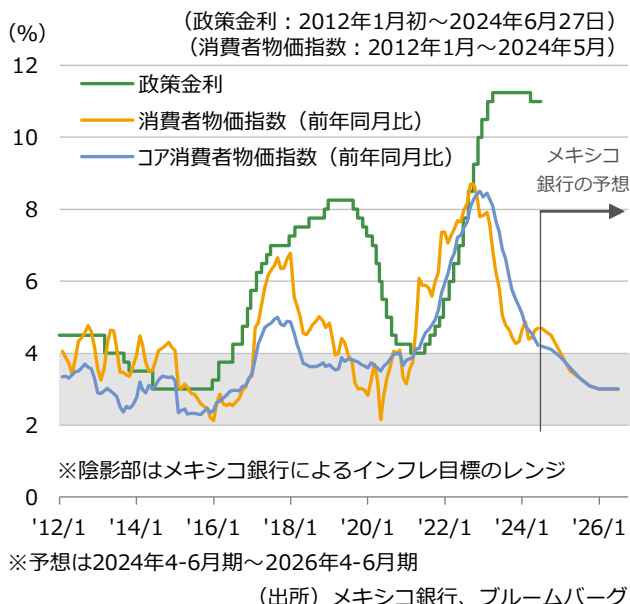
通貨安が過度に進行しなければ、利下げ再開が検討されよう

メキシコ銀行（中央銀行）は6月27日（現地、以下同様）に金融政策決定会合を開催し、政策金利を11.00%に据え置くことを決定しました。今年3月に利下げを決定した後、据え置きは2会合連続です。

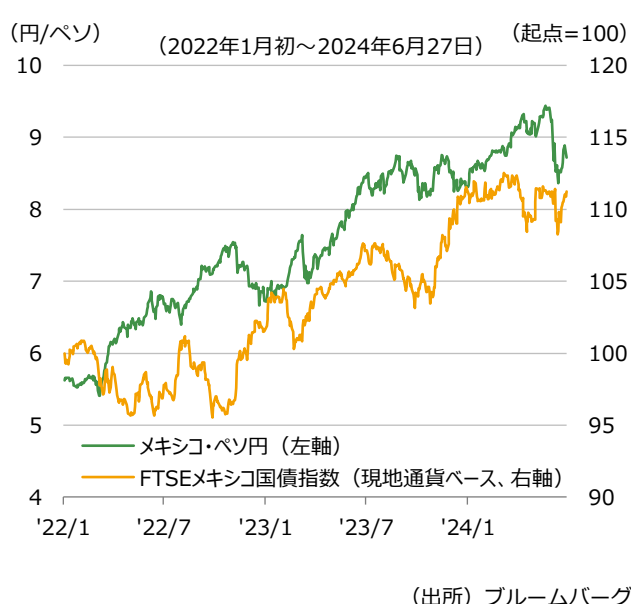
メキシコでは6月2日に実施された総選挙で与党が想定以上に議席数を伸ばし、司法制度改革による行政への権限集中や年金制度改革による財政悪化が懸念されて金利が急騰（債券価格が下落）し、メキシコ・ペソも急落しました。メキシコ銀行は今会合の声明文で選挙に関する直接的な言及を避けつつも、「特定の要因がメキシコの金融市場に大きな変動をもたらした」と記しました。しかし、「最近では、国内の金融市場がより良い動きを示している」としたほか、「メキシコ・ペソ安はインフレ見通しを押し上げたが、経済活動の弱さが通貨安の影響を一部相殺する」と評価し、当面のインフレ見通しはわずかな上方修正にとどめています。また、今後について「インフレを取り巻く環境は政策金利の調整（利下げ）に関する議論を可能にするだろう」とも述べています。これらは、最近の政治情勢が金融市場やインフレ見通しに与える影響を市場の想定以上に楽観視しており、利下げ再開に前向きな印象を受けます。

今後は9月に議会招集、10月に大統領就任、また11月に米国の大統領選挙と、重要な政治イベントを控えていますが、為替が現状付近で推移するようであれば利下げを決定する可能性が高まるでしょう。一方、通貨安が進行すれば利下げ再開を見送ることで為替相場の一定の下支え要因になることも期待されます。

メキシコの政策金利と消費者物価指数



メキシコ・ペソ円とメキシコ国債指数



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management